

交 流 通 信

田原市と交流がある国の
「お正月」について
ご紹介します

企画課 ☎ 2 3 局 3 5 0 7



世界中の人々にとって、1年の始まりは大切なもの。ところで、田原市と交流がある国々の「お正月」って、どんな感じなのでしょう？

日本

お正月は、新年を祝うだけでなく、家に年神様を迎えて祝う行事です。年神様は歳徳神とも呼ばれ、新しい年に穀物の実りをもたらし、私たちに命を与えてくれる神様のこと、私たちを見守っている祖先のことをいいます。お正月は、祖先とともに新しい時を迎える時なのです。

アメリカ

1月1日は「New Years Day」と呼ばれ、日本の元旦に相当します。日本のように年賀状を送ったり、初詣に行ったりする風習はなく、新年の目標を立て、家族で語り合ったりするのが一般的です。

ラオス

伝統的な行事は「小暦」と呼ばれる太陰太陽暦を用います。お正月は「ピーマイ・ラオ」「ソンカーン」と呼ばれ、西暦の4月中旬にあたりま



かわいらしい表情を見せているのはラオスの「プーニュー」と「ニャーニュー」。「プー」は「父方の祖父」、「ニャー」は「父方の祖母」のことで、「ニュー」は「大きい」という意味です。新年のパレードにも参加しています。(写真は『THE OFFICIAL LAO P.D.R. GUIDE BOOK』より)

す。ラオスの人々にとって、正月は1年で最も楽しい時期で、ラオス全土で盛大に新年の祝賀行事が行われます。これらの行事は『水かけ祭』として知られています。

ロシア

伝統的な行事は「イスラム暦」と呼ばれる純太陰暦を用います。イスラム暦は、ムハンマドがメジナに遷した日(西暦622年7月16日)を紀元元年1月1日としていて、太陰暦のため、1年が太陽暦より11日ほど短くなっています。お正月を祝う風習は特になく、市役所なども半日お休みをするだけで、あとは普段どおりに業務が行われます。

中国

伝統的な行事は旧暦を用います。お正月は春節と呼ばれ、西暦の1月下旬から2月上旬にあたります。春節には「何事もうまくいきますように」と書いた赤色の札を玄関に貼り、爆竹を鳴らしてお互いを祝福し合います。これらの行事の由来は、大昔「年」というどう猛な怪物がいて、毎年、旧暦12月30日の夜に人を食べに姿を現したため、人々は肉や食物を置いて隠れ、怪物がそれを食べに来ると、みんな赤い服を着てタスマツを灯し、爆竹を鳴らしながら怪物を袋叩きにして追い払った、という言い伝えからきています。